



12月に3学年の「総合実践」で、各クラス2チームずつ選ばれた計12チームが全体発表会として発表を行いました。今回の発表は日本や世界の社会課題を日本郵政×パートナー（課題解決にむけて協力できる企業・団体）で解決できるビジネスモデル、商品・サービスなどをグループワークを通して案を深めたものです。各クラスから選ばれたチームということもあり、内容の濃い案が多く、とても良い発表でした。その12チームから共感賞2チーム・優秀賞2チーム・最優秀賞1チームの計5チームが選出され、2月2日（金）の日本郵便東京支社で最終発表を行いました。支社長や日本郵政本社の方々、郵便局長などの前ということもあり、少し緊張も見える中でしたが、どのチームも素晴らしい発表でした。発表後は、日本郵政・日本郵便の方々とパネルディスカッションを行いました。「郵便局の当初の印象と現在の印象」、「郵便局に今後期待したいこと」などを意見交換しました。生徒たちにとっては大企業のオフィスで発表を行うという高校生ではなかなかできない経験ができたと思っています。

この交流をもって3年生の総合実践が終了となりました。最後に今回の最終発表およびパネルディスカッションにつきましては、日本郵政/日本郵便の方々におきまして大変忙しい中、このような機会を作ってください誠にありがとうございました。

